

5 札幌市教育アクションプラン（後期）の成果指標

札幌市教育アクションプラン（後期）の進行管理の参考とするための成果指標を設定します。

成果指標設定の基本的な考え方

成果指標は、札幌市教育アクションプラン（前期）と同様とします。なお、札幌市教育アクションプラン（前期）における設定の考え方は、以下のとおりです。

- 基本施策ごとに1～4の指標を設定し、計画全体で21の指標を設定
- 市民への分かりやすさ、当該基本施策において代表的（象徴的）であるといった要素などを踏まえて選定

成果指標の数値の説明

- 現状値：2018年10月までに把握した最新値
 - 目標値：2023年度までに到達を目指す数値
- <目標値設定の基本的な考え方>
- 札幌市教育アクションプラン（前期）における成果指標の動向や全国的な動向、関連する施策や事業の特性などを勘案した上で、努力目標的要素も加味して設定しました。

		成果指標	現状値	目標値
基本的方向性1 自ら学び、共に生きる力を培う学びの推進				
1-1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進	1	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している子どもの割合※	小 6 74.2% 中 3 68.8% 高 2 62.9%	小 5 78.0% 中 2 72.0% 高 2 67.0%
	2	将来の夢や目標をもっている子どもの割合※	小 6 83.2% 中 3 70.3% 高 2 72.2%	小 5 86.0% 中 2 72.0% 高 2 76.0%
	3	1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合	小5男 6.0% 小5女 11.4% 中2男 10.5% 中2女 25.7%	小5男 5.0%未満 小5女 9.0%未満 中2男 8.5%未満 中2女 23.0%未満
	4	読書が好きな子どもの割合※	小 6 77.5% 中 3 76.4% 高 2 72.2%	小 5 79.0% 中 2 78.0% 高 2 75.0%
1-2 共に生きる喜びを実感できる学習活動の推進	5	自分にはよいところがあると考えている子どもの割合※	小 6 83.1% 中 3 79.6% 高 2 66.3%	小 5 84.0% 中 2 80.0% 高 2 70.0%
	6	人の役に立つ人間になりたいと考えている子どもの割合※	小 6 71.9% 中 3 68.0% 高 2 49.3%	小 5 73.0% 中 2 70.0% 高 2 56.0%
1-3 ふるさと札幌のよさを生かした、豊かな創造力を育む学習活動の推進	7	札幌には、好きな場所やものがあると答えた子どもの割合	小 5 91.3% 中 2 84.5% 高 2 78.7%	小 5 92.0% 中 2 86.0% 高 2 84.0%
	8	外国の人と交流したいと思う子どもの割合	小 5 79.9% 中 2 63.2% 高 2 64.8%	小 5 83.0% 中 2 65.0% 高 2 69.0%

1-4 特別支援教育の充実	9	特別な教育的支援を必要とする子どもの個別の教育支援計画を作成している幼稚園、学校の割合	74.7%	100%
1-5 生涯にわたる継続的・自発的な学習活動の推進	10	さっぽろ市民カレッジの受講に満足している受講者の割合	85.1%	90.0%
	11	図書館の利用に満足している利用者の割合	91.4%	92.0%
1-6 一貫性・連続性のある教育活動の充実	12	子どもが参加する校種間連携を実施している学校の割合	小学校 99.0% 中学校 91.7% 高校 100%	小学校 100% 中学校 100% 高校 100%
基本的方向性2 多様な学びを支える環境の充実				
2-1 安全・安心で豊かな教育環境づくり	13	子どもが自ら身を守ろうとする態度や能力を育む安全教育を実施した学校の割合	小学校 100% 中学校 100% 高校 100%	小学校 100% 中学校 100% 高校 100%
	14	小・中学校における特別支援学級の整備率	小学校 92.6% 中学校 84.8%	小学校 93.0% 中学校 85.0%
2-2 生涯学習を支える環境づくり	15	生涯学習関連施設の利用に満足している利用者の割合	86.0%	90.0%
	11	(再) 図書館の利用に満足している利用者の割合	91.4%	92.0%
2-3 教職員が力を発揮できる環境づくり	16	研修の成果を活用できると答えた教職員の割合	98.9%	100%
2-4 学びのセーフティネットの充実	17	いじめなどの不安や悩みを身近な人などに相談する子どもの割合	小学校 93.9% 中学校 86.5% 高校 88.8%	小学校 96.0% 中学校 90.0% 高校 90.0%
	18	不登校児童生徒の在籍率	1.76%	1.60%未満
2-5 教育の情報化の推進	19	授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合	71.6%	77.0%
基本的方向性3 市民ぐるみで支え合う仕組みづくり				
3-1 園・学校と家庭、地域が支え合う仕組みづくり	20	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動を学校の教育水準の向上に効果的に活用している学校の割合	小学校 91.2% 中学校 81.8%	小学校 95.0% 中学校 85.0%
	21	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合※	小 6 78.8% 中 3 74.8%	小 5 80.0% 中 2 77.0%

※ 成果指標1、2、4、5、6、21の小学6年生及び中学3年生の実態については、文部科学省「全国学力・学習状況調査」の質問項目を活用して把握していましたが、2018年度の調査において、一部項目の変更及び削除があり、また、2019年度以降の調査において設定される項目についても見込むことができない状況です。

そのため、2018年度以降は、札幌市教育委員会が独自で実施している既存の調査を活用するなどし、子どもの実態把握を継続します。ただし、既存の調査は、小学5年生及び中学2年生を対象としていることから、目標値における対象学年を「小5」「中2」に変更しています。